

JICAが行う 中小企業海外展開支援事業



～日本の技術、世界を変える～

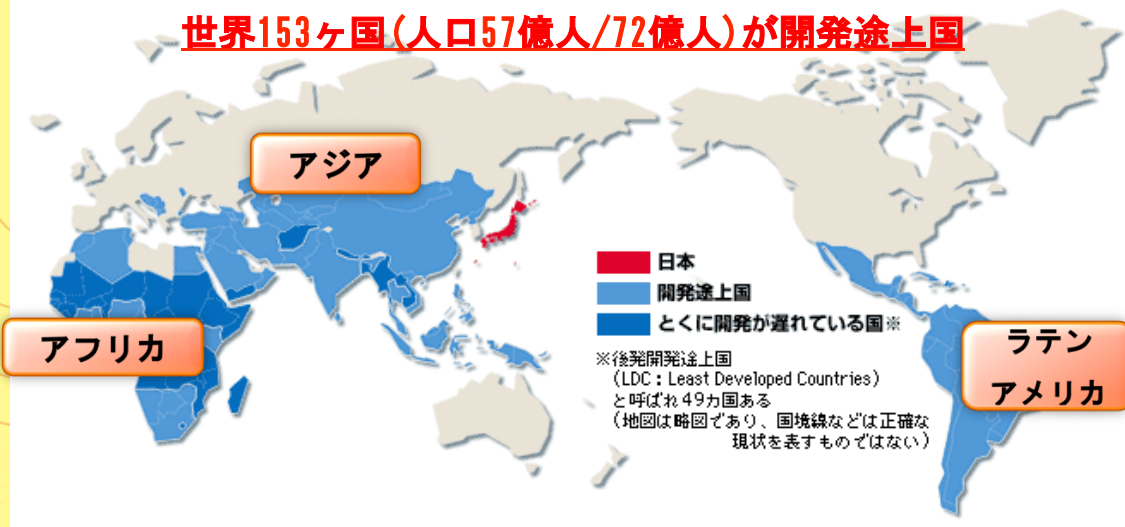
2018年5月16日
JICA北陸 仁田知樹



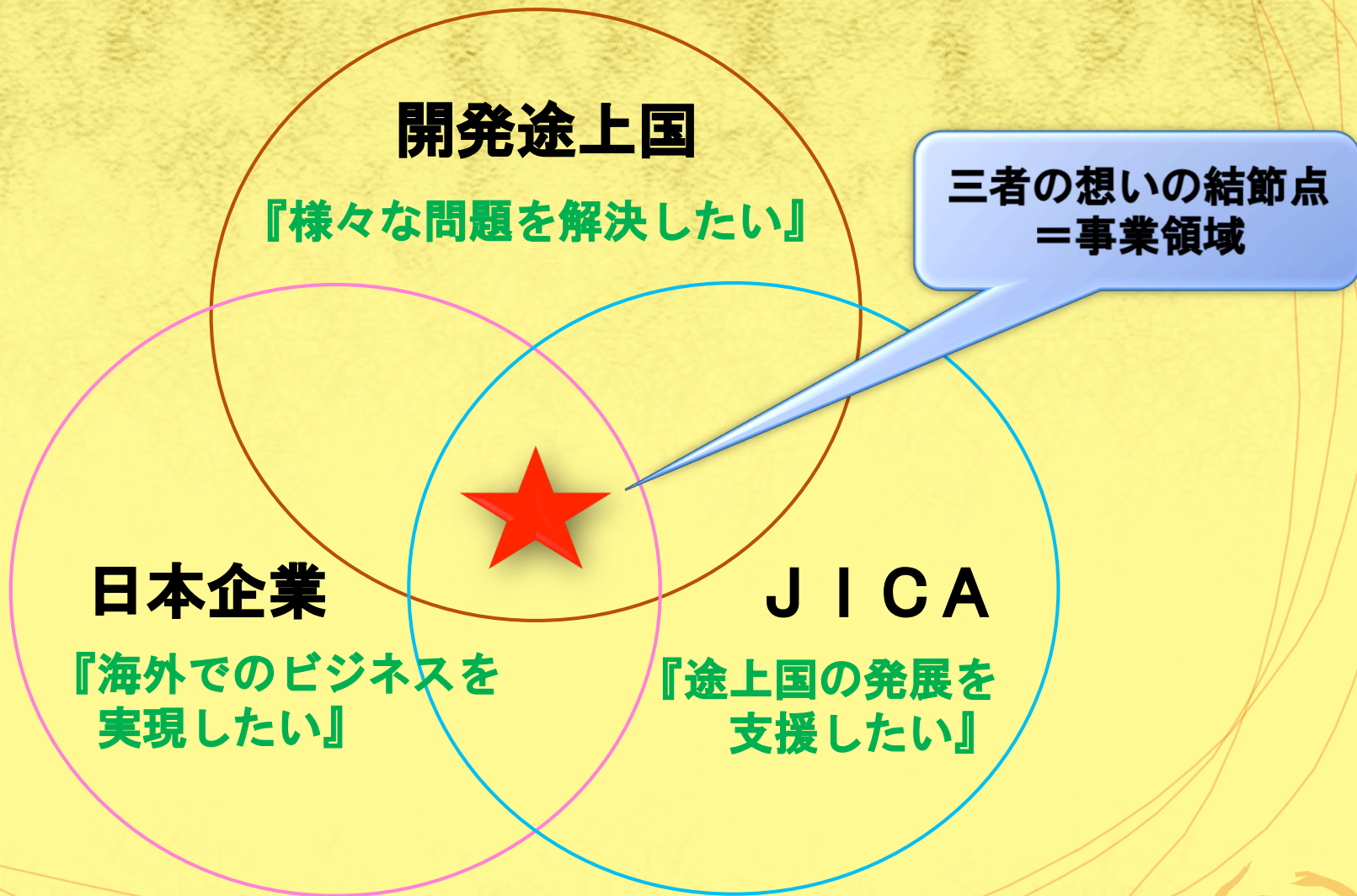
国際協力機構(JICA)とは

- ◆ 開発途上国の貧困問題等の解決に取り組む政府開発援助(OOA) 実施機関
- ◆ 技術協力、円借款、海外投融資、無償資金協力業務とともに、青年海外協力隊、シニア海外ボランティア、国際緊急援助隊の派遣も担う
- ◆ 途上国が必要とする日本の企業がもつ優れた製品、技術、ノウハウを途上国に紹介・普及する事業も導入・推進

世界153ヶ国(人口57億人/72億人)が開発途上国



JICAの企業支援事業のイメージ



JICAの企業支援事業の領域

★途上国の開発ニーズと民間企業の製品・技術のマッチングを支援



JICAの強み

場所

海外に約100カ所
(主に開発途上国)
国内に15カ所

- ASEAN各国はもちろん、アフリカ、中東、中南米等、世界中に拠点があります。

人

50年以上の協力経験
で培われた途上国との
「人的ネットワーク」
と「信頼関係」

- 2万5千人以上の途上国関係者(行政官、企業経営者等)に対して本邦で研修を実施しています。
- 途上国の関係者と太いパイプがあります。

情報

途上国事情に精通した
「職員」と国内外の
「外部専門家」
それらが持つ生きた
現地情報

- 1万人以上の専門家、1千人以上の青年海外協力隊員を派遣しています。
- 国際協力人材として国際協力キャリア総合情報サイト(PARTNER)に1万人が登録しています。

JICAの中小企業海外展開支援事業

開発途上国への進出をお考えの企業の方々へ
企業の「海外への思い」をサポートします。

JICAの支援事業で実施できること

現地で調査したい

途上国への進出に向けた情報収集、事業計画検討を
行いたい



基礎調査

途上国における自社製品・技術のニーズを検証し、事業
計画を立案したい



案件化調査

現地で実証、普及活動を行いたい

自社製品・技術・システムを試行的に導入、普及したい



普及・実証事業

危険物漏洩対策に係る技術の移転を伴う SF二重殻タンクの普及・実証事業 玉田工業株式会社（石川県金沢市）

ベトナム国の開発ニーズ

- 自動車の普及に伴いガソリンスタンドの新設・増改築需要が増加中。
- 現在普及しているガソリンスタンドの地下タンクは一重殻のため、漏洩や破損による火災・環境汚染発生等のリスクが懸念される。

普及・実証事業の内容

- ベトナムの既存埋設地下タンクの漏洩検査及び比較試験による二重殻タンクの有効性検証。
- 日本での技術指導研修実施。
- 現地ガソリンスタンドでの二重殻タンクの実運用実施及び普及活動。
- 現地の土壌汚染やガソリンタンク規制に係る法制度整備支援。

中小企業の技術・製品



漏洩検査技術及び二重壁タンクの製造技術



- ー漏洩検知装置により微小な漏洩であっても検知可能
- ー独自工法（スプレーアップ工法）による高い作業・材料使用効率の実現

ベトナム側に見込まれる成果

- 漏洩防止能力の高い二重殻のタンクの販売を通じて、ガソリンスタンドの環境・防災問題の改善。
- タンク製造・維持管理等の技術指導を通じ、漏洩事故抑止へと貢献。

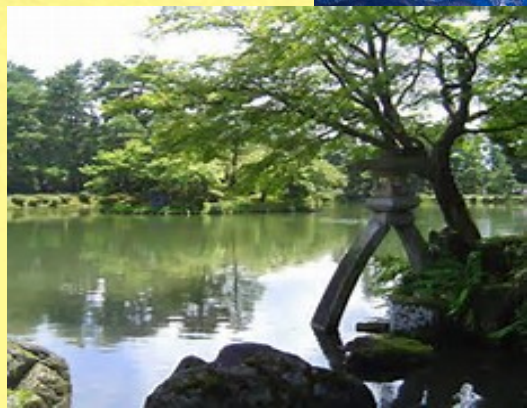
日本企業側の成果

現状

- タンクの製造を完了。ハノイ、ホーチミンのガソリンスタンドへ二重殻タンクを埋設。ベトナムの危険物処理にかかる法制度整備に向け、事前勉強会及び、本邦受入活動を実施。

今後

- ハイフォンに自社工場を建設。
- JBIC、北國銀行、三菱UFJ銀行による協調融資（約9.5億円）を受け、ベトナムでの事業展開を本格化。



ご清聴、ありがとうございました。

JICA北陸 仁田知樹